

神戸市立多聞東小学校 学校評価報告書

り学 の校 目づ 標く	・ひと・もの・こととの出会いを大切に、それらの教育資源を有効活用し基礎学力を保障できる学校 ・地域の中のコミュニティスクールとして、センター的な役割を果たし、開かれた教育課程の実践を発信できる学校					
内容		重点的な取組み	評点 (4段階)	特記事項 (学校自己評価)	関係者評価 (学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等) 学校自己評価、関係者評価を踏まえた 次年度の重点的な取組みの案	
育 て た い 子 供 の 姿	<教育目標>やさしく明るく たくましく ともに学びあう子 <めざす子ども像>・思いやりのある子 ・強い心と体をもつ子 ・自ら考え、仲間と学び合う子					
	思いやりのある子	・異学年交流、ペア遊び ・コミュニケーション能力の向上	4	異学年、ペア学年での活発な交流ができた。1年生が早く学校生活に馴染めた。	今年50周年で各行事で「人とつながる」気持ちがかもっていた。51周年も続けられたい。	各交流活動において、事前にめあての確認や事後の振り返りを行い、有意義な活動を図る。
	強い心と体をもつ子	・基本的な生活習慣 ・体力づくりの推進	3	体育や学校行事、休み時間外遊びを活発に行えた。	広い運動場や体育館、動きやすい同線など環境をうまく使っていた。	衛生面や体力づくりの観点での教育活動を計画し、それぞれの向上を図る。
	自ら考え、仲間と学び合う子	・基礎基本の定着 ・学習意欲の向上	3	ウエイクアップタイムでの基礎基本の定着。1～4年寺子屋の実施によりボトムアップを図った。	基礎と応用のメリハリのある指導を続けてもらいたい。	朝のウエイクアップタイムや放課後の寺子屋の時間を使ってより多くの児童の基礎基本の定着を図る。
全 市 的 に 推 進 す べ き こ と	①いじめ防止対策に関する取組み	・いじめアンケートの実施 ・児童理解、把握	4	児童の実態把握により事態の早期解決が図れた。	早期対応、対策を続けてもらいたい。	毎月の生徒指導連絡協議会や特別支援教育推進委員会での教職員の情報共有を図る。いじめアンケートへの迅速な対応を行う。
	②不登校支援の取組み	・生徒指導委員会による児童理解	4	児童と保護者への日常的なコミュニケーションにより、思いや不安に寄り添えた。	個々の事情が違うため、個別に寄り添った対応をお願いします。	担任だけでなく学校教職員全体で対応する。サポートルームの活用を軌道に乗せる。
	③教職員の業務改善	・毎週火曜のエコデー ・会議や打ち合わせの時短	3	教職員数の減少による個人業務の増加。業務のスリム化を意識した。	各員の負担感の軽減を図っていただきたい。	各業務内容のスリム化を行う等により、教職員の意識改革を図る。
	④「すぐる」の活用、ホームページにおける情報発信	・すぐるによる保護者への情報発信 ・学校ホームページによる教育活動の発信	3	すぐる活用により即座の情報発信ができた。ホームページの随時更新。	HP記事や写真を豊富にスマホで見られることを伝えてはどうか。	ペーパーレスの観点からもすぐる活用を推進する。
	⑤学校生活のルールや決まり(校則など)について	・「よくわかる多聞東」によるルールの周知	3	児童と保護者への学校ルールの周知ができた。足並みがそろうことで安心した学校生活を目指した。	親子含めて共通理解がよくできていたらよい。	気持ちよく過ごせる学校生活のために、見直しを行う。

【評点】 4：十分達成できた 3：おおむね達成できた 2：どちらかと言えば課題がある 1：課題がある